

令和3年(2021年)3月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2021年3月 数量 (トン)	2021年3月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	神奈川県産・千葉県産中心の入荷でした。好天により順調な生育が進み、三浦個選が早めの切り上がりとなるなど、入荷量はやや減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	517	77	95%	103%
2		キャベツ	愛知県産・神奈川県産・千葉県産中心の入荷でした。全体的に前進出荷となったため、入荷量はかなり増加しました。平均単価はかなり安く推移しました。	1,282	66	129%	64%
3		きゅうり	埼玉県産・群馬県産・茨城県産中心の入荷でした。各産地とも安定した出荷となり、入荷量は前年並みで推移しました。平均単価は安く推移しました。	380	312	101%	86%
4		ほうれん草	群馬県産・茨城県産中心の入荷でした。温暖な気候により各産地とも前進出荷となったため、入荷量はかなり増加しました。平均単価はかなり安く推移しました。	114	350	138%	68%
5		馬鈴薯	北海道産が例年より一ヶ月以上早く終了し、九州産は降雨、長雨等の影響により、出荷が遅れたため、入荷量はやや減少しました。平均単価は大幅に高く推移しました。	285	292	92%	209%
6	果実	伊予柑	1月の寒波の影響で作柄が良くなく、切り上がりが早くなったため、入荷量はかなり減少しました。平均単価は高く推移しました。	96	257	76%	111%
7		ふじ	産地在庫が有るも、需要が弱く、入荷量はかなり減少しました。平均単価はかなり安く推移しました。	239	253	66%	75%
8		いちご	主力産地の関東と九州の2～3番果のピークが大きく重なることがなかったため、全体的に入荷量はやや増加しました。平均単価はやや高く推移しました。	191	1,440	106%	108%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0～2%
- ②やや増加(減少):(+-)3～10%
- ③増加(減少):(+-)11～20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21～50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上